



ヘルシニ府千八百七十七年十二月廿日
澳西利國ト日耳曼國トノ間ノ税則改正ニ関セル報告



3014



114
A 4477



去ル十一月九日付テ、報告ヲ以テ余ハ澳日間ノ新税則談判ハ

競ニ合議ニ至ラスシテ止メリ且ツ澳國政府ハ不羈税則ヲ案シ

テ議院ニ呈セシヲ陳述セリ而シテ今又余ハ該件ニ関シ報告

ヲ次ントス借(爰ニ封入シテ尊覽ニ供スル所)不羈税則案ハ澳

國議院ニ呈セラル、ニ及シテ同院ニ於テ論議交モ起リ之ヲ可

トセサルノ説尤モ多カリキ此時ニ於テ日耳曼國トハ談判ノ最

中ナリシカ竟ニ六ヶ月間旧税則ヲ延用スルヲ決セリ且又澳

英間ノ談判ハ先キニ兩國間ニ取結タル所ノ税則條約ヲ其終ニ

取行ヒ尤モ二回ノ内何レカ之ヲ改正セント欲スルヤハ則チ之

レヲ改正セントテ尚陳セン日ヨリ一ヶ年後ニ廢停スルノ自

由ヲ得ルヲ決セリ

大正十一年四月
隈侯爵郵寄贈

大正

故ニ当分ハハ日澳ノ間ニハ六ヶ月英澳ノ間ニハ西國ノ内何
レト改正ノヲ開陳スルコト(但シ之ヲ開陳セシ日ヨリ一箇年
間)旧税則條約ヲ延用スルモノナリ

思フニ右ノ如ク旧税則ヲ延用スルノ期ヲ定メシモノハ全ク此
ノ間ニ其各政府ニテ新税則ノ談判ヲナサントノ意ナルヘシ
澳國政府カ其議院ニ制案ヲ呈シ且ツ現今評議中ナク不羈税則
ノ主義ニ付テ取調フルハ今日日本政府ニ取りテ無益ノ事ニハ
アラサルベシ

制案ニ属スル所ノ規則ニ拠レハ各輸入ノ貨物ハ縣稅ヲ納ムル
ノ外ニ輸入稅ヲ拂ハサルヘカラス是レニ因テ觀レハ若シ澳國
内ノ或ル縣ニ於テ其地方ノ費用ニ當テンカ為メ某貨物ニ臨時
ニ課稅課スルコトアルトキハ則テ外國貨物ハ已ニ輸入稅ヲ納メ
ケルモ高ホル稅(縣稅)ヲモ託ハセ納メサルヲ得ス此件ハ最モ注

意セサルヘカラザルモノニシテ且嘗テ外國諸政府カ強ク故障
シテ數回ノ議論ニ及ヒタル支那ノ厘金稅ニ恰モ似タリ然リ而
シテ支那政府ノ久シク主張セシ所ノモノヲ以テ今澳國政府ハ
之ヲ採リ用ヰントスルカ如シ此ノ件ノ如キハ他日日本ニ於テ
モ稅則改正ノ日ニ於テ果シテ起ルヘキノ議論ナレハ余ハ之ヲ
有益ノ事ト着目セリ○國內通行ノ貨物ハ無稅ナリ是主義ハ自
然ノ條理ニ出テ、一般政府ノ採用スル所ナリ○有稅ノ輸出品
ハ其品目ニ甚タ限リアリ(即チ紙製造ニ用ユル爛布ニ限ル)一般
政則ノ稅則ニ於テ輸出稅ノ廢セラレタル所以ノモノハ輸出稅
ヲ課スルハ取モ直サス輸出ヲ禁スルノ理ニシテ理財ノ點ニ取
リテ尤モ害アレハナリ然リト虫氏制禁ノ理ニ當ルニモ拘ハレ
ス日本ノ輸出品中輸出稅ヲ課スルニ適當セルモノ數品アリ蠶
卵紙ノ如ク斯キ是レナリ

他國ノ貨物ニ此カレハ澳國ノ貨物ニ課スルニ重税ヲ以テスル
所國ヨリ澳國ニ輸入シ來ル所ノ貨物ニハ税則ノ定税ノ外ニ
一割ノ増税ヲ課シ又税則中ニ掲載ナキ品ナレハ五分ノ從價税
ノ外ニ一割ノ増税ヲ課スルノ約定ヲナスル最モ緊要ナリトフ
是レ或ル一國ノ人民ニ特格ノ便宜ヲ与ヘナガラ澳國人民ニハ
斯ル便宜ヲ并有セシメサル所ノ國ニ對シテ報スルノ自然ノ方
便ナレハナリ○穀物質ニテ組織セル物品仮令ハハ毛綿皮織
ノ如キハ其物質ノ多キモノニ就テ税ヲ課ス然レハ物質混淆ノ
多少不分明ニシテ疑アルヤハ其物質中最モ高税ノモノニ就テ
課ス○塩、火藥、烟草ノ如キ政府ノ專賣ニ属スル所ノ物品ノ輸入
ホハ官吏ノ免狀ヲ有スルノ外ハ之ヲ免スルナレシ○無税品ハ帝
王ノ自用品其他公使ゾノ自用品及ヒ芽七款、芽八款、芽九款中ニ
掲載セルモノナリ但シ芽八款及ヒ芽九款中ニ載セラレタル貨

物及ヒ製造物則チ澳國內ニテ精製ノ為メ輸入セシ所ノモノ
ハ若シ大蔵省ノ官吏ニテ定メタル期限内ニ之ヲ精製ノ上原ト輸
入セシ物品ト相違ナキ証拠アルニ於テハ無税ニテ輸出スルヲ
得且同様ノ目的ノ為メ一旦輸出ノ上再ヒ輸入スルトキモ亦
同シ
但シ此税則ノ設ケアリト雖モ外國ニ對シテ行ナフモノニア
ラス此海關税則中ノ部分ニアラザル所ノ澳國領内ノ諸部ニ
限ルモノニシテ仮令ハ同國ノ領内タルマニヤ亦對スル
ノ税則ナルカ如シ
又甚々緊要ナル規則ト云フハ商賣ノ為メニ輸出セシニ賣却ス
ルヲ能ハスシテ積戻レル所ノ物品ハ大蔵省官吏ノ特許ナレ
無税トナスルナリ
而シテ最モ緊要ナル改正ト云フヘキハ貳「フロリン」以上ハ金貨

ヲ以テ諸^ノ議院ニ於テ可決セラレタルヘカラザルノ規則ニシテ此ノ議案ハ既
ニ議院ニ於テ可決セラレタリ金貨ヲ以テ収税スルモハ忽チ一
割五分ノ増税ニ當レハ其益タル此少ニアラザルナリ素ヨリ
國ノ紙幣ハ國內通用ノ法貨ナリト至氏種々ノ事情ヨリ現今
至リテハ金貨ト紙幣トノ差一割五分ニ及ヘリ加之ノミナラス
澳國政府ハ此項金貨ヲ以テ拂渡スヘキ約束ノ國債ノ起シタル
カ故ニ此ノ改正ヲ行ヒ税関ノ歳入ヲ増シ以テ金貨ヲ集ムルハ
欠クヘカラサルノ要ナリトス尤モ此改正ヲ企テシハ嘗テ魯西
亜カ金貨ヲ以テ収税スルノ法ヲ採セシニ習ヘルニ相違ナシ○
澳國歳出入豫算表ニ於テ見レ、税関ノ歳入豫算ハ貳千六百萬
フロリンナリトシ、九百五十万フロリンハ税関ノ諸入費ナ
ルヲ以テ純粹ノ歳入高ハ尙千六百八十五万フロリンナリ但シ
此高ヲ以テ前年ノ豫算ニ比スレハ七百四十万フロリンヲ増加

セリ
余此ノ税則ヲ一覽スルモ重モニ税額ヲ増加セシ所ノモノハ左ノ物
品ナリ則チ茄菲^{（注）}トトリツク、セント子ル、ウヰイト^{（量目）}ニ付キ
十六「フロリン」ヨリ金貨ニテ貳拾四「フロリン」ニ増加シ茄菲^{（調理}
シタル）二拾一「フロリン」ヨリ金貨ニテ三十「フロリン」ニ増加シ「ソ
ルロゲーツ、オフ、カフエー」^{（茄菲ノ一種）}ニ「フロリン」ヨリ金貨ニテ六「フ
ロリン」ニ増加シ香料及ヒ南方ノ菓実類モ亦多少増加セリ茶ハ
元ト百「キロ」^{（量目）}ニ付銀貨ニテ十「フロリン」ナリシニ金貨ニテ十
五「フロリン」ニ増加セリ（但シ日本茶ノ澳國ニ輸入セラル、モノ
ハ甚タ稀ニシテ殆ント無シ）米ハ半「フロリン」ヨリ貳「フロリン」ニ
石腦油ハ一半「フロリン」ヨリハ「フロリン」ニ増加シ酒類ハ元ト
入瓶八十モニハ「フロリン」ナリシガ今度輸入ハ十二「フロリン」瓶
入ハ貳十「フロリン」ニ増加セリ穀物、麦粉、及ヒ此類ノモノハ無税

肉貝ハキニ「フロリン」ヨリ四「フロリン」ニ家猪ハ一倍ニ増加セ
リ

半製造品中第三十号以上ノ木綿糸ハ生ノ條ナレハ「フロリン」
ヨリ十二「フロリン」ニ増加シ晒シ又ハ漆メタルモノハ十二「フロ
リン」ヨリ十六「フロリン」ニ増加セリ生糸ハ無税ナレバ晒シタル
カ又ダ「フロレット」シルクナレハ十二「フロリン」ヨリ二十二「フロ
リン」ニ増加セリ木綿製造品ハ四十。四十。八十。八十。八十。八十。代
ハ三十一。四十。六十。七十。七十。「フロリン」ナリ特別ニ品目ヲ著
ハカハル毛織物類ハ一「メートル」方ニ付六百「グラム」以上ナ
レハ四「フロリン」志「メートル」方ニ付四百五十乃至六百「グラム」
ナレハ六「フロリン」志「メートル」方ニ付四百五十「グラム」以下
ナレハ八「フロリン」志「メートル」方ニ付四百五十「グラム」以下
キ量目ノ大小ニヨリテ税額ヲ定ムルハ甚ク緊要ノコトニシテ且

ツ毛織物ノ税ヲ定ムルニハ凡ク此ノ税法ニ若クモノアラサル
ヘ

然レバ「ユニオン」及「メルトン」ノ如キ薄羅紗ハ夏服用ナルカ故
ニ甚ク薄カラサルヲ得ス然ルニ薄羅紗ノ税斯ノ如ク厚キヲ以
テ之レヲ輸入スルモ殆ント商人ノ利得トナル「能ハサレハ高
人社会ニ在リテハ大ニ之レニ苦情アリ

余ハ該件ニ付爰ニ筆ヲ閣クニ臨ミ先般ノ報告中ニ載セタル
ヲ今又重言セントス則チ日本ノ輸入貿易上最モ必要ノ事ハ現
ニ諸條約国ニ於テ日本産物ノ其国々ニ輸入スルモノニ課スル
ニ何ゾノ税ヲ以テスル乎又他日税則改正ノ日ニ於テ此ボノ国
々ハ日本産物ノ輸入ニ一層ノ便利ヲ与ヘトスル乎否ヤ
視ルニ在リ

今度巴理博覽會ニ付キ松方閣下ノ渡航セラル、コソ此ノ緊要

件ヲ取調シテハ、好機會ナラント愚考也

余、一千八百七十三年ノ日耳曼税則ヲ送り以テ比較参考ノ用ニ供スルナリ謹言

バロシ、シーボルト

大 鼎 以

